

活動報告（9月リポート）

担当：静岡県西部農林事務所農業女子会プロジェクトチーム

表題：つながる農業女子会～心に響く、お客様への伝え方について学びました～

期日：令和元年9月5日（木曜日）

場所：ワークピア磐田「はじまりのオフィス」（磐田市見付）

県西部農林事務所主催の若手女性農業者向け経営セミナー「つながる農業女子会」の今年度第3回を開催しました。今回はお客様と直接的なコミュニケーションの機会をもつことが農業経営にプラスのインパクトを与えることを理解し、お客様の心に響く伝え方や行動のあり方を学ぶ目的で開催しました。

県の6次産業化サポートセンター登録講師でフードコンサルタントの小杉恵氏を講師に迎え、次の3つの柱で講義・演習を行いました。

①「これまでに開催した『つながる農業女子マルシェ』を振り返ってみよう！」

ディスプレイの工夫、販売員の服装・立ち居振る舞い、品揃え、お客様への声かけ、試食の出し方などについて、良かった点、改善するとよい点を、実際の写真を見ながら、また当時出展した受講生への質問も織り交ぜながら、講師がレクチャーしました。

②「具体的に表現してみよう！」

青果を実際に食べて、食感、味わいのほか、品種の特長、美味しい部位、減農薬などの栽培暦、良品の見分け方、家庭での保存方法、含まれる栄養素、おすすめの食べ方、生産者の思いなどを表現する練習をしました。

③「お客様が『買いたい』と思うポイントは何だろう？」

自分が消費者として食品を購入するときの理由を言語化する演習を行い、消費者の購買スイッチを探りました。（味？栄養？生産ストーリー？利用シーン？）結果、受講生世代の女性が比較的高価な食材・食品を購入する際のキーワードも見えてきました。

受講生からは、「売ることより消費者とつながることを大事にすることが、結果、売れることにつながっていくのかなと感じました」などの感想が聞かれました。

